

成蹊学園史料館年報 二〇〇五年度

目次

1 成蹊学園史料館の活動報告 4

1-1 二〇〇五年度の史料館の事業 4

(一) 成蹊学園史料館の年間活動状況の概要

(二) 特別展示について

(三) 特別講演会の開催について

(四) 博物館実習生の受け入れ

(五) 『成蹊学園史料館資料集②』

(六) 成蹊学園史料館運営委員会（一〇〇年史編集委員会）の活動概要

(七) 学習まんが『大正自由教育の旗手 中村春二』

(八) 学外研究会等での活動

1-2 特別展示 14

(一) 「成蹊学園ゆかりの画家たち」展示記録

(二) 「夏の学校」展示記録

(三) 「枯林忌特別展示」展示記録

1-3 「成蹊学園一〇〇年史」編纂 活動報告 26

(一) 学内史(資)料調査報告

(二) 学園の基礎年表の作成について

(三) 学園の基礎データ資料の把握

2 学園史(資)料の紹介 32

2-1 史料館所蔵史(資)料から 32

(一) 『浅野校長時代日誌』(史料は巻末に掲載)

(二) 二〇〇二年度年報岩崎小弥太の書簡について

3 研究ノート 41

【研究ノート1】

成蹊学園史料館所蔵中村秋香遺稿等分類目録

成蹊大学大学院博士後期課程 鈴木 亮

【研究ノート2】

「教育図解」解題

上田 祥士

63

表記について

一 用字は通行の字体、仮名遣いは現代かなづかいを用いる。引用文の仮名遣いは原則として原文のままとする。

二 年号は原則として西暦を用い、適宜和暦を補記する。

三 人名は敬称を略し、肩書き・役職名は当時のものを用いる。人名等の用字については正字・異体字を使う場合に起こりうるさまざまな不公平を避けるため、右記の原則に従って表記する。学園の創立者の一人である岩崎小弥太については、正しくは「岩崎小彌太」であるが、本書では原則として「岩崎小弥太」に統一した。

四 史料紹介については別途凡例に従う。

41